

報道関係者各位
プレスリリース

2007年5月11日
東京都港区六本木 6-11-16-404
エフ・プラット株式会社

=====
**製本単価を低減し、自作本を出版・販売する機会を拡げる「セルフストック方式」を開始
～ 自作本の出版販売コミュニケーションサイト「マイブックル」(My Bookle) ～**
=====

エフ・プラット株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:神部典之)が運営する、誰でも初期費用なし・在庫なしで自作の本を製本、出版、販売できるウェブサイト「マイブックル」は、1冊だけから製本・出版・販売できる「ドロップシッピング方式」に加えて、一定量の本をあらかじめ著者が自分で購入し、注文が入るたびに著者自身の在庫から販売できる「セルフストック方式」を、5月末をメドに開始します。

ドロップシッピング方式と比べて1冊当たりの製本原価を低減できるため、自分のブログを本にして販売したりグループで同人誌を制作・販売したりする機会が拡がり、誰にとっても、自作本の出版・販売がより身近な楽しみとなるようなサービスの提供を目指しています。

(参考リンク)「マイブックル」ウェブサイト <http://www.mybookle.com>

■ 「セルフストック方式」開始の背景

「マイブックル」は昨秋のオープン以来、ドロップシッピング方式、すなわち買い手がついてから1冊ずつ印刷・製本できることを特徴としており、この基本方式に変わりはありません。しかし、在庫を発生させずに1冊単位で印刷・製本するドロップシッピング方式は、製本単価が割高となるため、出版した本を販売する際の単価も市販の本より高くなりがちです。

自作の本を出版したい人のニーズは様々であり、初期費用や在庫を持たずに出版販売したいと考える人がいる一方で、多少の初期費用や在庫が発生しても、競争力ある価格で自分の本を販売したいと考える人もいます。自分の本の出版をより多くの人に楽しんで頂こうという「マイブックル」の理念を実現していくためには、こうした多様な自作本出版ニーズに柔軟に対応していく必要があると判断し、今般セルフストック方式をスタートすることとなりました。

■ 「セルフストック方式」の概要

セルフストック方式は、始めに一定量の自作本を著者自身が購入し、またはすでに持っている在庫をサイトに登録し、購入の注文が入る度に自分の在庫から本を出荷する販売方式です。これにより1冊当たりの製本原価が抑えられるため、現行のドロップシッピング方式よりも相対的に低価格で販売できます。著者が在庫を購入する価格は、例えば100ページの小説(文庫本サイズ)を100冊の場合、計3万6千900円すなわち、1冊当たり369円となります。

在庫した本を販売する価格はあらかじめ著者自身が設定し、本が購入されると、著者は直接、購入者の指定配送先に配送します。この際、本の販売価格から当社への販売手数料(販売価格+送料340円)×20%を差し引いた金額が著者に支払われます。一方、購入者は1冊につき送料340円を負担します。

■ ブックラーに聞く(第2回) ~ すでに4冊のブックルを出版したフランキー石田さん

「マイブックル」オープン当初からのユーザーであるフランキー石田さん(本名:石田信義さん)に、「マイブックル」を使ってみた感想などについてインタビューをしました。石田さんは、すでに4冊のブックル(自作本)を「マイブックル」で出版しています。



『吼えろ拳』
2033円



『山の民』
1894円



『朝の始まり
朝はおもしろくなくちゃ』
1663円



『愚痴ったらこうだ
中間管理職が吼える』
1663円

▲ フランキー石田さんが出版した4冊のブックル

【マイブックル事務局(以下、MB)】2月から2ヶ月ほどの間に4冊を出版。ほぼ半月に1冊のハイペースですが、どのような時間に執筆されているのですか。

【フランキー石田さん(以下、石田)】私は現役をすでに引退していますので、書く時間は十分あるのです。

【MB】ブックルを出そうと思ったきっかけは。

【石田】以前から本を出すことに興味があったのですが、朝のNHKテレビ番組(1月15日『おはよう日本』)で紹介された「マイブックル」を見た時に、これぞ、自分が求めていたサービスだ、とワクワクしてきたのです。

【MB】石田さんの今後のブックル執筆活動について聞かせてください。

【石田】実はいま『三尺三寸』と題した剣の使い手の小説を書いているところなのです。早く完成させたいのですが、楽しみながら書いていると、つつい時間が掛かってしまって(笑)。

【MB】「マイブックル」では今月から、著者に30~1000冊の在庫分を事前に購入して頂くことで市販の本と同等かそれ以下の価格で販売できる「セルフストック方式」を新たに導入します。この「セルフストック方式」は、ブックルの執筆活動に役立ちそうですか。

【石田】役立つと思います。以前、ある出版社から1冊出版しましたが、数百万円かかりました。「セルフストック方式」ならば(B5サイズ約60ページの本を)50冊出すと全部で3万1千円ですか・・・つまり1冊620円で作れるんですね。これを100冊でも全部で3万6千800円だから1冊368円で出版できるので、ハードルはずいぶん低くなります。現在のブックルの価格は1冊が相対的に高価になるので、なかなか他人に買ってもらえない面もあります。市販と同等になれば、たとえ他人に買って頂けなくても記念品として配ることもできますね。

<エフ・プラット株式会社の事業について>

私たちエフ・プラットは、デザインや、アイデアや、コンテンツの創作を、日々の暮らしの中でもっと身近に楽しむことができる社会的なプラットフォームが必要だと考えています。私たちの身近にある“創造性”を、インターネットを活用して流通させる「クリエイティブ・プラットフォーム」を提供するため、当社は次のウェブサービスを展開しています。

- (1) 誰でも気軽にデザイナーを活用できる「ファーストデザイン」 <http://www.fast-d.com>
- (2) クリエイター専門のSNS型コミュニティ「マイデザインズ」 <https://mydesigns.jp>
- (3) あったらいいなをカタチにするサイト「マイデザイン」 <http://my-d.jp>
- (4) 出版できる本屋さん「マイブックル」 <http://www.mybookle.com>

<お問い合わせ先>

エフ・プラット株式会社 広報担当: 松沢 裕之

〒106-0032 東京都港区六本木 6-11-16-404

URL: <http://www.f-plat.com>

TEL: 03-3423-3016 / FAX: 03-5876-8713 / Email: info@f-plat.com